

**(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)**

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

**【研究計画名】** 神経変性疾患患者の剖検組織を用いた ErbB4 アイソフォーム発現割合の検討

**【研究責任者】** 国立精神・神経医療研究センター 病院 臨床検査部 佐野輝典

(2020年4月より、研究責任者が齊藤祐子から佐野輝典に変更になりました。)

**【本研究の目的及び意義】**

ニューレグリン-1(NRG-1)/ErbB4 シグナルは、神経系の発達・可塑性、神経保護などの重要な役割を果たしているが、近年、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー病、パーキンソン病、進行性核上性麻痺などの神経変性疾患の病態に NRG-1/ErbB4 シグナル異常が関わっていることが報告されている。

ErbB4 受容体には、スプライシングバリエーション(2つの JM アイソフォームおよび2つの CYT アイソフォーム)が存在し、それぞれ特徴的なシグナルを生じるが、このアイソフォームの違いが NRG-1/ErbB4 シグナル異常を引き起こし、ヒト脳腫瘍や統合失調症など、様々な疾患の病態に関わっていることが報告されている。本研究では、ErbB4 シグナル異常が報告されている神経変性疾患においても、ErbB4 アイソフォームの割合が病態変化に関与しているか否かについて実証する。

**【本研究の実施方法及び参加いただく期間】****対象となる方**

2009年4月以降に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、剖検検体の残余の保管および研究使用に関して同意された方の中、病理診断により進行性核上性麻痺と判定された方、及び神経変性疾患に罹患されていない方(対照)

**利用する試料・情報等**

試料：凍結脳

情報等：診療録(年齢、性別、診断名など)

**研究期間**

2019年4月25日より2021年3月31日まで

**【共同研究機関】**

関西医科大学

研究責任者 村上綾

関西医科大学総合医療センター

近藤誉之

2020年7月

**○問い合わせ窓口**

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 病院  
所属 臨床検査部 病理検査室 氏名 齊藤祐子、佐野輝典  
電話番号 042-341-2711 (代表)  
e-mail : yukosm@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局  
e-mail : ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)